

あつまれ！元気だ！わんぱくらんど（豊中）の集団あそび場

NPO 法人キッズ&子育て応援隊 MerryTime

自主
事業

申込内容

■事業の概要

子どもが親と離れ、自由かつダイナミックに遊ぶ場。色々な素材で工夫を凝らした工作や、外では飛んだり跳ねたり泥んこ遊びをして、親子共にリフレッシュ。わんぱく仲間とたくましく育ち合い、地域のつながりを広げます。

■目的

子どもの育ちを長期的視野で捉え、「あそび」を子どもの生活の原点とし、思い切り遊ぶ中で一人の人間として自立できるよう、それぞれの年代に応じたかかわりをする。親子双方向からの子育てをサポートする。

■交付決定額 400,000 円
(事業予算 825,500 円)



◎活動の様子（平成 26 年度）



異年齢の子どもたちが一緒におもいっきり遊ぶ「わんぱくらんど」。子育て世帯がもっと暮らしやすくなることを願う住民の依頼を受け、7月18日に上新田にあるマンションの集会室で開催が実現しました。



参加は、小学3年生3人と1年生2人、幼稚園1人。部屋に入るのを躊躇していた子どもたちでしたが、一步ふみだすと開放感いっぱいの広い室内を走り回り始めました。親と離れた子どもだけの空間で、自主的にコミュニケーションをとりあい、新聞や段ボールなど身近な物を工夫して自然に遊びを作り出していました。



「近所迷惑になるので、室内で体を動かすことや大きな声で遊ぶことはできません。公園も少なく、児童センターが近くにないので、家にこもりがちになっていて、親のストレスが子どもにも伝わっていると感じています。」「この辺りは緑豊かで子育てしやすそうな環境ですが、苦勞も多く、特に幼い子を持つ親は、友人を作りにくいのが現状です。」と、今回参加した子の親。



企画した住民は、「自由に体を動かす子どもの笑顔を見て、今回だけで終わらせたくない、今後も続ける必要があると感じました。定期的に開催できる場所を探すのが課題です。」と継続を考えているようです。

MerryTime のめざす「子どもの生きる力の元を育てたい」という目的と地域の思いが重なり実施に至ったこと、新しい挑戦だから多くの課題があることを感じました。20年間培ってきたノウハウを持つNPO団体と地域住民とが手を取り合って、地域の課題解決に向けて取り組む姿勢に今後を期待します。